



夢は見るもの 叶うもの 人の3倍励むもの

秀麗の丘

学校だより NO.21

令和5年1月10日

発行人 八木沼孝夫

教育目標 新しい時代を担う豊かな心と知性を身につけた実践力のある生徒の育成

知性：自ら学び考える生徒 **友愛**：心豊かな生徒 **健康**：健康で実践力のある生徒

新年あけましておめでとうございます。

新年あけましておめでとうございます。令和5年の希望に満ちあふれた新春を迎えられたことをお慶び申し上げます。

令和4年もコロナ禍と建設工事で体育館が使えないという厳しい状況が続く中でしたが、保護者の皆様をはじめとする多くの方々のご理解とご支援により、試行錯誤の中で教育活動を行うことができました。

今日から始まる3学期は今年度のまとめの学期でもあります。3年生は進路実現、1・2年生は中堅学年・最高学年への進級にむけて、有意義な学期になるよう教職員が一丸となって取り組んでまいりたいと思います。

今年も「子どもたちの笑顔と、教職員の自信が満ちあふれ、保護者から信頼され、地域から愛される学校」を目指してがんばりたいと思いますので、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



3学期始業式校長式辞(抜粋)

(前略)

ところで、新たな気持ちを持ってがんばろうとしている皆さんに、ぜひ考えてほしいことについてお話をしてみたいと思います。

現在、須賀川一中が全校生徒で取り組んでいる「SDGs」についてです。

今年度は、生徒会を中心に各専門部で様々な取組を行っています。それも専門部ごとに自分たちでできることを考えて、中学生らしいアイデアを出して取り組んでおり、昨年度よりも充実した取組が行われていて、とてもうれしく思います。

その「SDGs」ですが、正式には「Sustainable Development Goals」＝「持続可能な開発目標」という少し難しい言葉ですが、現在の地球温暖化や紛争、環境破壊、人権問題、貧困など地球上のさまざまな問題を放置して、そのままにして進んでいくと、今後人類は地球上で暮らしていけなくなってしまうことが予想されました。

そこで、国連は2015年に「SDGs」という目標を設けて、2030年まで「誰一人取り残さない(Leave No One Behind)、持続可能な社会の実現を目指すために、世界共通の目標に向かって取り組みを進めよう」と定めたのが「SDGs」です。

今現在、皆さんが取り組んでいることは、世界の一員としての取組であることに、誇りを持ってほしいと思います。

それでは、このSDGsの視点を皆さんの学校生活にも置き換えてみてください。

「誰一人取り残さない、持続可能な須賀川一中」のために、どんなことをすればいいのか？を考えてほしいのです。その観点として、SDGsの17の目標の中で、

はじめに、目標NO. 4「質の高い教育をみんなに」についてです。

現在、授業では4人1組のグループでの「学び合い」を行っていると思いますが、みんなで協力し合って意見を出し合い、学習課題を解決してほしいと思います。そして、わからなかったらわからないと素直に言い合える雰囲気ですべてを進めてみましょう。そうすれば授業は楽しくなり、当然みんなの学力が高まるはずですよ。

次に、目標NO. 5「ジェンダー平等を実現しよう」と目標NO. 10「人との不平等をなくそう」について考えてみましょう。

一中には232名の生徒がいますが、それぞれに個性を持っています。男女といった性別や障がいがあるなしに関係なく、その人の考え方や個性を尊重して、みんなが楽しい学校生活を送ることができるように、みんなが平等で安心して学校生活を送れるようにするためにはどうすればよいかを考えられる一中生になって下さい。

最後に、目標No. 17「パートナーシップで目標を達成しよう」についてです。

今、一中には残念ながら学校に登校できない生徒さんが何人かいます。その人たちも含めて、「誰一人取り残さない、持続可能な須賀川一中」をみんなで実現させてほしいと思います。そのためにも、お互いを認め合い、助け合い、思いやりをもつパートナーシップを発揮して学校生活を送ってほしいと思います。

(後略)

今年度の高校入試が本格化

1月に入り私立高校の入学試験が始まり、いよいよ高校入試が本格化してきました。

主な私立高校の入試日程は右表のとおりです。

現在、3年生が冬休みや放課後も学校で受験勉強を行ったり、入学願書の作成や面接対策のために先生方から指導を受けたりしています。これまでの受験勉強の成果を発揮できるように、風邪やインフルエンザ、さらには新型コロナウイルスなどに罹らないよう健康管理に気をつけて、頑張ってもらいたいと思います。



◎●◎主な私立高校入試日程◎●◎

1月13日(金)	尚志高校推薦併願特待併願入試
1月16日(月)	尚志高校一般併願入試
1月17日(火)	帝京安積推薦入試
1月18日(水)	帝京安積一般・特別選考入試 郡山女子大附属推薦入試 学法石川B専願入試
1月19日(木)	郡山女子大附属一般入試
1月24日(火)	日大東北推薦入試(～25) 学法石川高校合格発表
1月25日(水)	日大東北一般入試(～26) 帝京安積合格発表 郡山女子大附属合格発表
1月26日(木)	尚志高校合格発表
1月31日(火)	日大東北合格発表

体育館建設工事の様子「新しい体育館への夢と希望」をのせて

現在行われている体育館建設工事の様子についてお知らせいたします。

10月に入って本格的に行われている躯体工事ですが、11月に入ると1階部分、12月になると2階部分の工事が行われ、ようやく体育館の形が確認されるようになりました。今後屋根の部分の工事が行われるようです。工事の進捗状況は、当初の予定よりも遅れているようで、後日改めて新しい工程が示されます。

そんな中、建設工事とは別に、今後、体育館ステージ脇に掲額する校訓「秀麗」や、体育館外側の柱に設置する須賀川市や須賀川一中の象徴するシンボリックなデザインマークの選定などを行い、生徒や保護者、地域の方々の「新しい体育館に対する夢と希望づくり」も進めてまいりたいと思います。



11月8日(火)



11月15日(火)



11月25日(金)



12月9日(金)



12月12日(月)



12月27日(火)



12月28日(金)



1月9日(月)

学校評価保護者アンケートにご協力ありがとうございました

12月に2学期の学校運営に関するアンケートをお願いしておりましたが、ご協力いただきありがとうございました。アンケートの結果については後日お知らせしたいと思いますのでもうしばらくお待ちください。

今後も保護者や地域の方々のご意見等をいただきながら、学校教育活動を進めてまいりたいと思います。

▶今年の十二支はウサギ(卯)です。ウサギは「因幡の白兔」や「カチカチ山」「カメとウサギ」にも登場するように昔から人間生活に身近な存在だったようです。しかしこれらの話のウサギはどこかずる賢かったり、いたずらっ子のイメージでとらえがちですが、本来のウサギは愛らしく穏やかで、子宝の動物とも言われておりしています。▶卯年は株式相場の世界では「ウサギは跳ねる」ことから景気が良くなると言われており、「飛躍」や「向上」の年になるとも言われています。また2023年は十干(じっかん)と十二支(じゅうにし)の組合せでは「癸卯(みずのと・う)」です。癸の字は「揆(はかる)」からなり、植物の内部にできた種子が大きさを測れるまで大きくなった状態として十干の最後にあてられ、卯の方位は東で日出を表します。そのことから癸卯の年は「これまでの努力が花開き、実り始める」年になると言われているそうです。▶以上のように、2023年は皆さんにとって、穏やかな年になるとともに、これまでの努力が花開いて実り始め、大きく「飛躍・向上」する1年になることを切に願うばかりです。